

および大あごが発達する *Cyclorhipidion* sp. を沖縄本島から報告しているが、本種と同種であるかは不明である。発達した大顎が坑道内での種内競争に用いられるのか、あるいは坑道入口で天敵の侵入を防ぐために用いられるのかは不明であるが、本種がスプレーイングで採集されたことから、樹木の表面、あるいは坑道の入り口で天敵を撃退している可能性が高いと考えられる。なお、筆者は同所において本種の雌と思われる個体も複数採集しているが、こちらに関しては本種の雌という確証がないため、今回

は雄の記録のみに留めた。

引用文献

- 梶村 恒, 2010. キクイムシの繁殖生態. 昆虫と自然, 45 (14): 17-20.
 Schedl, K. E., 1951. Fauna Indomalayaensis, I. Tijdschrift voor Entomologie, 93: 41-98.
 上田明良・水野孝彦・梶村 恒, 2009. キクイムシの生態: 食性と繁殖様式に関する研究の現状と展望. 日本森林学会誌, 91: 469-478.

(2018年8月3日受領, 2018年9月10日受理)

【短報】東京都稲城市でオオタツマアカヒメテントウを採集

オオタツマアカヒメテントウ *Scymnus* (*Pullus*) *rectus* (Ohta, 1929) は、テントウムシの同定に広く使われている黒澤ほか編 (1985) や日本環境動物昆虫学会編 (2009) に、四国・九州・対馬に分布するとされていることもあって、本州にも産することは東日本の愛好者にはあまり知られていないようだ。しかし西日本ではすでに常識のようで、筆者が知りえた限りでも長野 (高橋, 2015) ・三重 (鈴鹿市環境部環境政策課編, 2008) ・京都 (京都府自然環境保全課, 2015; 高橋, 2015) ・奈良 (高橋, 2015) ・大阪 (高

橋, 2015) ・兵庫 (稲畑, 2001; 長島, 2017; 高橋, 2015) ・鳥取 (佐々治, 1991) ・島根 (林, 2011) ・岡山 (鈴木, 2014) ・広島 (亀山ほか, 2009; 大塚, 2010; 佐々治, 1991, 2002) ・山口 (山口県立山口博物館編, 1988) の各府県から報告されている。

筆者は東京都稲城市で本種 (図1) を採集したので報告する。

稲城市大丸 (多摩川河川敷): 1♀, 26. IX. 2017; 1♀, 22. V. 2018; 稲城市押立 (多摩川河川敷): 2♂♂, 24. IX. 2017; 3♂♂1♀, 12. X. 2017; 1♂, 2. V. 2018. すべて筆者採集・保管。

オニグルミやエノキのスイーピングで得た。近似のニセツマアカヒメテントウ *S. (P.) rectoides* Sasaji, 1971 と同時に得られることが多い。

同定は Kamiya (1961), Sasaji (1971) によった。Kamiya (1961) の♂交尾器の図は Sasaji (1971) に、そして佐々治 (1996) や日本環境動物昆虫学会編 (2009) にもそのまま使われている。この図ではサイフォの先端部背面に付属片のようなものが描かれているが、いずれの本文中にもその説明はない。上に記録した6頭の♂にはそのような付属片が認められなかったが、それ以外の点では外部形態・♂交尾器ともに Kamiya (1961), Sasaji (1971) の記載によく一致したので本種と同定した。



図1. オオタツマアカヒメテントウ♂ (稲城市産, 阪本優介撮影)。



図2-4. ニセツマアカヒメテントウ (左) とオオタツマアカヒメテントウ (右) の雌雄交尾器 (いずれも稲城市産, 伊藤淳撮影)。2, ♂交尾器サイフォ; 3, ♂交尾器包片; 4, ♀貯精嚢。

ニセツマアカヒメテントウと比べると、体形はより短くて丸みが強く、また上翅は左右それぞれに、翅端部の橙色紋の前縁が前方へ弧状に突出することで区別できるが、♂交尾器の形態による区別の方が確実である(図2-3)。本種のサイフォは基半部がニセツマアカヒメテントウのものより大きな輪を描き、中間部が膨らみ、その先は細くてわずかに波曲し、先端部は腹側が斜めに裁断状で、鋭く尖る。包片の中央片は、ニセツマアカヒメテントウでは側縁が弧状であるのに対して、本種では両側平行で、先端部は単純な三角状に尖る。また、♀の貯精嚢の形態にも相違が認められた(図4)。

なお、筆者はニセツマアカヒメテントウを稲城市内各地で多数確認しているが、もうひとつの近似種ツマアカヒメテントウ *S. (P.) dorcatomoides* Weise, 1879 は見出していない。この種も普通種とされることが多いが、実は東京近辺では少ないものかもしれない。松原(2003)も「関東南部の平地では前種(引用者注:ツマアカヒメテントウ)よりも本種(引用者注:ニセツマアカヒメテントウ)の方が多く思うが、同定が難しいため正確な記録の蓄積が十分できていない」と述べている。今後、オオタツマアカヒメテントウを含めた3種について、正確に同定し、同定の根拠を明示した記録の蓄積が必要であろう。

末筆ながら、文献の提供、種々の情報提供、写真の撮影などで御協力いただいた柏崎昭、北野峻伸、前原和雄、松原豊、中村涼、西野洋樹、阪本優介、鈴木茂、高井泰、辻雄介、山崎裕志の各氏に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 林 成多, 2011. 島根県産甲虫目録(2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (4): 1-161.
- 稲畑憲昭, 2001. 兵庫県からのテントウムシの記録. きべりはむし, 29(1): 50.
- 亀山 剛・西 真弘・中村慎吾, 2009. 江の川の昆虫類 2004年の調査結果. 比和科学博物館研究報告, (50): 1-219.
- Kamiya, H., 1961. A revision of the tribe Scymnini from Japan and the Loochoos (Coleoptera: Coccinellidae) Part II. Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University, 11(3): 303-330, pl. 39.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編, 1985. 原色日本甲虫図鑑(III). x + 500pp. 保育社, 大阪.
- 京都府自然環境保全課編, 2015. 京都府レッドデータブック別冊(京都府自然環境目録). 415 pp. 京都府自然環境保全課, 京都.
- 松原 豊, 2003. 東京都のテントウムシ科. Leptalina, (151-156): 621-644.
- 長島聖大, 2017. 伊丹市のテントウムシ科(コウチュウ目). 伊丹市昆虫館研究報告, (5): 39-43.
- 日本環境動物昆虫学会編, 2009. テントウムシの調べ方. 148 pp. 文教出版, 大阪.
- 大塚健之, 2010. 2010年までに広島県内各地で採集した甲虫

の記録. 広島虫の会報, (49): 33-44.

- Sasaji, H., 1971. Coccinellidae (Insecta: Coleoptera). Fauna Japonica. ix + 340 pp., 16 pls. Academic Press of Japan, Tokyo.
- 佐々治寛之, 1991. 馬場金太郎博士採集の日本各地産テントウムシ科甲虫標本. 越佐昆虫同好会々報, (71): 33-36.
- 佐々治寛之, 1996. 絵解き検索によるテントウムシ類の見分け方. 日本環境動物昆虫学会編, 環境アセスメント動物調査手法 6, pp. 27-56. 日本環境動物昆虫学会, 大阪.
- 佐々治寛之, 2002. 広島県のテントウムシ科の分布記録(4). 比和科学博物館研究報告, (41): 105-109.
- 鈴鹿市環境部環境政策課編, 2008. 鈴鹿市の自然. 802pp. 鈴鹿市環境部環境政策課, 鈴鹿.
- 鈴木 茂, 2014. 岡山県の甲虫. <https://okayamacoleoptera.jimdo.com> (2018年7月25日アクセス)
- 高橋 敏, 2015. テントウムシ科. 初宿成彦編, 大阪市立自然史博物館 所蔵甲虫目録(4), pp. 71-145. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 山口県立山口博物館編, 1988. 山口県の昆虫. 197 pp. 山口県立山口博物館, 山口.

(伊藤 淳 183-0012 府中市押立町 5-1-25)

【短報】沖永良部島におけるコメツキムシ科甲虫2種の記録

筆者の一人、内藤は2017年4月に沖永良部島で甲虫類の調査を行った。採集したコメツキムシ科甲虫のうち、ハナコメツキ亜科に所属する2種が未記録であるので、同島初記録として報告する。標本は有本が保管している。

1. オキナワオオハナコメツキ *Platynychus loochoensis* (Kishii, 1979)

1♂。(図1), 鹿児島県大島郡知名町沖泊キャンプ場, 20. IV. 2017, 内藤準哉採集。

広葉樹の地上 3.5 m 位の枝の叩き網で得た。

本種の既知産地は奄美大島、喜界島、徳之島、



図1-2. リュウキュウオオハナコメツキ (1) とタムラハナコメツキ (2)。